

Press Release
報道関係者各位

2016年12月16日
株式会社横引シャッター

9億の負債、先代の急遽、2度のピンチを乗り越え3年連続業績向上

**創業者の遺志を受け継ぎつつ新分野に果敢に挑戦する2代目社長
オーダーメイドシャッターの技術と利便性 ペット産業や介護分野にも**

オーダーメイドシャッターの設計、製造、施工業の株式会社横引シャッター(本社:東京都足立区、代表取締役社長:市川慎次郎)は、今年で設立30周年を迎えました。2代目代表の市川は、先代から受け継いだものづくりの精神を受け継ぎ、特殊シャッターの技術の可能性を、雨戸、ペットや介護分野など異業種にも参入し、新たな販路拡大に挑戦しており、3年連続業績が向上しています。



株式会社横引シャッター代表取締役社長 市川 慎次郎(いちかわ しんじろう)

生年月日 1976年4月7日
(おひつじ座)40歳

出身地 埼玉県八潮市
血液型 AB型

【略歴】国士館中学校、国士館高等学校卒業後、中国・清華大学へ留学し、北京語言文化大学 漢語学部・経済貿易学課を卒業。大学卒業後、株式会社横引シャッターに入社。父の運転手兼秘書として、直接創業者精神を叩き込まれる。その後、総務部部長、経理部長を兼務。創業者急逝後、代表取締役として現在に至る。

【直近3期の売上高】

2014年3月期	160,100,000 円
2015年3月期	177,100,000 円
2016年3月期	263,200,000 円

■6年で7億の負債を返済

当社は、創業当時から大手シャッター業界で製造できない特殊シャッターの設計、製造業を営んでおり、1986年に上吊り式で横引きタイプのシャッターを開発しました。このシャッターは、カーテンのように上で吊っているので片手でも簡単に開閉でき、防犯機能も兼ねそろえ、曲線スペースにも使えます。この特殊シャッターで培われた技術は、駅の売店はじめ、デパートや商業施設利用されるなど、様々なシーンで活用されています。



当社の横引きシャッターを導入している駅売店

しかし、市川が入社した当時、会社は9億円の負債を抱えていました。製造メーカーであるため、開発に膨大な費用がかかり、その他、給料遅滞、税金滞納、仕入先への未払い、銀行の借入など、負債は雪だるま式に膨らんでいました。市川は先代の目が黒いうちに借金を返そうと、まずは負債を返済するため電話回線、電気、仕入れなど、細かい支払い項目すべて洗い出し、毎月浮いたお金で各返済に振り分ける地道な作業を続け、6年間で7億円を返済しました。

■突然の先代の急遽、遺志を受け継ぎ社員11名の再出発

市川に2度目のピンチが襲います。2011年の暮れに先代が急逝し、会社は一時期大混乱に陥りました。誰かがこの会社を守らなくてはならない状況下の中、自分しかいないと市川は覚悟決め、社員11名の再出発となりました。まず市川は「この会社は自分の会社ではなく先代の会社である」事を

肝に銘じ、先代の築きあげたものづくりの精神を受け継ぎ、1件1件地道に業務をこなし軌道に乗せていきました。その甲斐あり、お客様の信用も回復し、徐々に会社の環境も安定してきました。

■「良いものが売れるのではない、売れるのはお客様の欲しいもの」2代目の改革

また市川は急速な時代の変化を読み取り、特殊シャッターの技術と利便性を、より多くの方に知っていただこうと既成概念にとらわれずシャッター以外の分野にも挑戦をしています。「良いものを作れば売れる」と高度成長期を引きずっている開発メーカーが多い中、市川は「良いものではなくお客様が欲しいものを世に出していく」会社を目指し、先代の遺志は残しつつも2代目ならではの改革を行っています。

◇ペット分野

今や、日本は子供のいる家庭よりペットを飼育している家庭のほうが多い事から、従来のペットを狭い場所に“囲う”という発想からは逆の、部屋の間仕切り機能も兼ねそろえた“ペットカーテンゲート”を開発。

◇介護分野

健常者向けに設計されている住宅環境をそのまま活かし、既存の建物にも後付けが可能な横に引くタイプのバリアフリーのドアなど、介護分野の製品を開発。

◇シニア分野

高齢化が進み、伝統的な日本家屋に取り付けられている雨戸も、シニア世代にとっては毎日の開け閉めがおっくうになってきます。その課題に対し、片手でカラカラと開け閉めが可能で尚且つ曲線面にも対応が出来、防犯機能も付いている雨戸用横引きシャッターを開発。



間仕切りにも使用可能なペットカーテンゲート



既存の建物に後付けが可能なバリアフリーのドア



木製シート貼りの雨戸用横引きシャッター

■今後も柔軟な体制づくりを促進

当社は、社内制度も製品同様に社員一人ひとりの状況に合わせてオーダーメイドしています。そのため、雇用する側が雇用される側に歩み寄り、他社にはない柔軟な仕組みを作り、社員達が安心して働ける環境作りを行っています。

また、市川は従来の町工場や、ものづくりの中小企業は暗く汚いというイメージを払拭したいと考えており、様々なことを取り組んでいます。今後も大手企業では出来ない、特長ある中小企業を目指し、社内社外問わず良いと感じたことは積極的に取り入れてまいります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
横引シャッター広報事務局 担当：新保（しんぼ）
TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788
携帯:080-9874-4858 メール:pr@real-ize.com

【会社概要】

会社名 :株式会社横引シャッター
代表 :代表取締役社長 市川慎次郎(いちかわしんじろう)
所在地 :東京都足立区綾瀬 6-31-5
ホームページ :<http://www.yokobiki-shutter.co.jp>
設立 :1986 年 4 月 3 日
従業員 :39 名(グループ全体・2015 年 4 月現在)
資本金 :1,000 万円
事業内容 :オーダーメイドシャッターの設計、製造、施工業

当社は、1986 年の創業以来、原発・火力発電所・造幣局等、特殊な用途の施設に、防犯性と製品の信頼性を高く評価されてきました。また、現在上吊り式シャッター関連の多数の特許を保有し、特殊シャッターの分野では先駆けの企業です。

この他にも、ショッピングモールの時間差店舗の管理シャッター、個人のガレージ、雨戸シャッター等、大規模な事業、個人宅関係なく、顧客ごとにオーダーメイドで製作しています。

自社のシャッターの修繕の経験、アイデアを形にする技術、金属加工に限らずシャッター技術に必要な部位製造も自社製品でまかなっています。これらが可能なのは、高度経済成長期の日本を牽引してきた職人の技が集結しているからです。

■フェイスブック :横引シャッター facebook 公開中
100005657023160@facebook.com



■足立ブランド認定 :株式会社横引シャッターの製品は、東京都足立区が優れた製品・技術と認定した足立区ブランド認定製品です。



「足立ブランド」は、足立区が区内産業の優れた製品・技術を認定し、その素晴らしさを全国に PR し、ネットワークを広げていくことで区内産業のより一層の発展と足立区のイメージアップを図ることを目的に平成 19 年度から開始した事業です。認定製品・技術には「認定ロゴマーク」が付与され、販路拡大のための PR 支援などの事業を展開し全国へアピールしていきます。

■カニ部長



: 駅の売店でお馴染みの横に引くシャッターの専門メーカー「横引シャッター」。この横に動く動作がカニを連想させる事から、オリジナルキャラクター「カニ部長」が誕生。横引シャッターの親善大使としてキャラクター商品を展開中です。

LINE スタンプ、クリアファイル、缶バッジ、等